

所 属	交通部 交通規制課		
担当(係)名	規制係	内 線	5171

(款)9警察費	(項)2警察活動費	(目)(3)交通指導取締費
(明細書事業名) 交通安全施設整備費 交通安全施設整備事業費		

1 当初予算(要求)額(千円)

2,681,370

2 当初予算(決定)額(千円)

2,285,158	【財源内訳】	国庫	県債	一般財源
(前年度2,374,671)		352,616	353,000	1,579,542

3 事業概要

交通安全施設の充実整備により、道路交通の安全と円滑化を図るとともに、高齢者や身障者等交通弱者にも配慮した人にやさしい交通環境の実現を図ります。

4 施策の効果

交通信号機の新設及び高度化改良、道路標識及び道路標示の整備により交通事故防止と交通の円滑化を図ります。

5 要求の内容

道路交通円滑化対策に必要な経費 647,047千円

交通信号機の集中制御化及び情報収集提供装置(光ビーコン)等の整備を行います。

交通事故防止対策に必要な経費 1,986,414千円

道路標識の大型化、自発光化及び信号灯器のLED化を図ります。

人にやさしい交通環境づくりに必要な経費 41,567千円

子どもや高齢者が安心して歩行できる「あんしん歩行エリア」を道路管理者と連携し整備します。なお、同エリア内住民等に対する説明会開催に要する経費を追加要求した。

その他交通安全施設整備事業に必要な経費

6,342千円

6 用語の解説

信号灯器のLED化

従来の電球式信号灯器を発光ダイオード(Light Emitting Diode)を光源とする信号灯器に替えるもので、西日による擬似点灯(反射光で赤と青のどちらが点灯しているか分からなくなる)が起らず安全面で優れている。

あんしん歩行エリア

交通事故が多発している地区を「あんしん歩行エリア」に指定し、歩行者等の安全通行権の確保に向けた施策を道路管理者とともに推進し、地区内の交通事故抑止を目指します。

7 決定内容

平成14年度3月補正予算措置分と合わせて「15ヶ月予算」として、一体的に措置した。